

ひろば



臨時号

※よいところを見つけ、伝え合おう ～さらに「つながり」を大切に～※

学校教育自己診断アンケート

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。結果は別紙のとおりですが、「肯定的な回答」の一部を挙げました。

【低学年（1～3年）】

- ◎先生は、自分の話や考えを聞いてくれる。（94％）
- ◎学校では、友だちと仲良くできている。（98％）

【高学年（4～6年）】

- ◎授業中、友だちと話し合う活動がよく行われている。（95％）
- ◎少人数・ITの授業はわかりやすい。（80％）

【保護者】（R03⇒R04）

- ◎学校は、基礎学力を身に付けさせている。（94⇒96％）
- ◎学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。（95⇒96％）
- ◎学校は、子どものきまりを守る態度を育てている。（90⇒95％）

教職員は、教科指導や生徒指導等において、子どもたち対して「大切にしたいこと」を意識して組織的に取り組んでいます。このことを評価いただいたことは、教職員の励みになっております。反対に、昨年度よりポイントが落ちた項目やご意見については、真摯に受け止め、今後の取組を推進する際の「ヒント」にしてまいります。



なお、ご意見にありました「現在の4年生が来年度2学級になる」という件について、複数のご意見をいただきました。この点について、ご説明をさせていただきます。

「学級数」及び「教職員数」は、学校独自で決めるのではなく「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」等により決められて配置されます。1年生から4年生までは「1学級35人」、5・6年生は「1学級40人」で教員が1名配置されます。令和5年度は、現在の4年生（新5年生）の児童数が「78名」ですので、割り当てられる教員は2名となります。今後、転入があり、児童数が81名以上になると見込めれば3学級になります。（他の学年も同様で、例えば、2年生の児童数が転出により70人以下となれば、2学級になります。）

学級担任は2人となりますが、担任以外の教員が授業をする専科制度やクラスを分割して学習指導をする「少人数指導」制度を取り入れて、担任以外の複数の教員が児童を見守り、支援・指導にあたります。また、これまで同様、学校全体ですべての児童を「組織的に」見守ってまいりますので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和5年度は、新5年生のみが2学級になりますが、今後の児童数によっては、どの学年も同様であることをすべての保護者の皆様にご理解いただきたく、お願いいたします。